

博多織工業組合が「夏の博多織フェア」を開催しました！

博多織工業組合が令和5年6月13日(火)から7月14日(金)まで「夏の博多織フェア」を開催し、最終日に取材させていただきました。皆様もご存じのとおり、博多織は平成30年に伝来777周年を迎えた非常に歴史のある織物で、国の伝統的工芸品に指定されています。現在では、その織の特性を活かして様々な大学や企業とコラボレーションもしています。



博多織とユニクロのコラボ

組合事務所に併設したギャラリーには夏をテーマに織元渾身の博多織作品が展示・販売されていました。反物や帯はもちろん、夏着物やゆかた用の夏帯・半幅帯、博多祇園山笠に向けて男帯も販売され、更に普段使いできる小物等もあり、特にブローチや帯留等珍しい商品もありました。最終日ももあり、開店直後に複数のお客様が来店され、事務局の方が忙しそうに対応されていました。



たくさんの織物や小物が並ぶギャラリー

また、ギャラリーの中の特設会場には博多織と同じ伝統的工芸品の博多人形も展示、販売されており、山笠が近い時期もあって長法被・水法被を着た可愛らしい博多人形もありました。



手前がブローチ、奥が帯留



長法被・水法被を着た博多人形

事務局の坂口様から、「ここ数年コロナ禍で大規模な催し物ができませんでしたが、少し落ち着いてきたこともあり『夏の博多織フェア』を初めて開催してみました。博多織ってなんとなく聞いたことはあるという方も多いと思いますが、このような催し物から着物や帯だけでなく、小物やインテリアもあることを知っていただき、博多織により興味を持っていただければと思います。今後、コロナウイルスの状況もありますが、催し物の開催を増やして、博多織の一層の周知を図りたいと思います。」とのことでした。

今後の催し物の開催については、博多織工業組合のホームページやインスタグラムに掲載されますので、興味のある方はチェックされてください。